

# 昭和十六年度直轄工事年報

## 總論

### 第一 治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ着手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ専ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲惨事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スルコトトナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得、同四十四

年度ヨリ該計畫通り事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可及的全國各地ニ均霑セシメン  
トスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

(以上二十河川)

利根川	信濃川	木曾川	淀川	九頭龍川
吉野川	庄川	高梁川	遠賀川	北上川
雄物川	荒川	阿賀野川	富士川	最上川
神通川	岩木川	加古川	綠川	斐伊川

第二期河川

(以上四十五河川)

天龍川	阿武隈川	筑後川	那珂川	庄内川
中川	手取川	矢作川	大和川	吉井川
馬淵川	紀ノ川	大淀川	由良川	多摩川
關川	米代川	鳴瀬川	久慈川	菊池川
郷川	旭川	渡川	蘆田川	川内川
相坂川	千代川	鶴見川	大野川	球磨川
相模川	肱川	矢部川	狩野川	圓山川
肝屬川	太田川(静岡)	豊川	白川	大分川
酒匂川	鈴鹿川	太田川(廣島)	名取川	仁淀川

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度(昭和三年度)迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟テ改修ニ着手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノコトニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未着手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、産業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二次臨時治水調査會ニ於テ慎重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度内ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之ガ決定ヲ見タルモノ即チ左記河川是ナリ

鬼 怒 川(利根川支川)	小 貝 川(利根川支川)	信濃川上流(新潟縣下)	犀 川(信濃川支川)
野 洲 川(淀川支川)	木 津 川(淀川支川)	北上川上流	雄物川上流
最上川上流	天 龍 川	阿武隈川	筑 後 川
那 珂 川	庄 内 川	手 取 川	矢 作 川
大 和 川	吉 井 川	馬 淵 川	紀 ノ 川
大 淀 川	由 良 川	關 川	米 代 川
久 慈 川	旭 川	渡 川	蘆 田 川
川 内 川	千 代 川	鶴 見 川	大 野 川

相模川	肱川	狩野川	肝屬川
豐川	白川	大分川	酒匂川
鈴鹿川	太田川(廣島)	名取川	仁淀川
新宮川	安倍川	菊川	大井川
北川	常願寺川	小矢部川	黒部川
天神川	日野川	佐波川	那賀川
土器川			

(以上五十七河川)

右ノ内帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川内及太田(静岡)、安倍ノ各川並多摩川上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ銳意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其ノ改修區域ハ利害ノ關係極メテ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其ノ上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニ非ザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益々河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當ノ補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ内務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ同七年度ヨリハ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其ノ事業ヲ直接施行スルコトトナリ尙翌八年度ヨリハ太田川(静岡)、阿賀、阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其ノ工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大出水ニ鑑ミ更ニ増補工

事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ互ル工事ノ進捗ヲ遅延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施行ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十五萬五千三百圓（内地方負擔二十五萬圓）ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年十一月ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ即チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依リ豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度内ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ在テハ今後十箇年度内ニ着工シ同十五箇年度内ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル其河川ハ次ノ如シ

北上川上流	米代川	雄物川上流	阿武隈川下流
久慈川	入間川	鶴見川	相模川
黒部川	常願寺川	小矢部川	手取川
豊川	庄内川	新宮川	由良川
天神川	吉井川	郷川	菊池川
白川	球磨川	大分川	肝屬川

（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ在テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク増大シテ速ニ改修工事施行ノ必要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工

事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ俟タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途ノ中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修済ナルモ現在ノ堤防ヲ以テシテハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ増補工事ヲ行フモノトス

最上川上流

小貝川

鳥

川(神流川ヲ含ム)

菊

川

矢作川

大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ銳意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシテ今後十箇年度内ニ著工シ同十五箇年度内ニ完成スルモノトス

最上川支流立谷澤川

同 銅山川

阿武隈川支流荒川

利根川支流鬼怒川

同 渡良瀬川

相模川

信濃川支流清津川

黒部川

富士川水系

信濃川水系

天龍川水系

庄内川上流土岐川

木曾川支流中津川(落合川ヲ含ム)

安倍川

大井川

淀川支流野洲川

淀川支流大戸川

新宮川支流十津川

蘆田川

而シテ既定河川ノ内本年度迄ニ完成ヌ告ゲタルハ筑後川、淀川(増補工事トモ)、木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川(利根川支川)、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期(江戸川、中川ヲ含ム)、荒川下流、阿賀野川、多摩川、北上川、太田川(静岡)、加古川、神通川、圓山川ノ十八流域ニシテ工事中ニ

係ルモノハ荒川上流、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川(信濃川上流)、岩木川、阿賀阿武隈兩川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流(新潟縣下)、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、緑川、北川、旭川、鬼怒川(利根川支川)、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川(淀川支川)、川内川、太田川(廣島)、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川、手取川、小矢部川、天神川、阿武隈川下流、木曾川下流増補、常願寺川、米代川、肝屬川、球磨川、黒部川、馬淵川、大和川、久慈川、豊川、利根川(増補)、表六甲河川、鶴見川、猪名川、菊池川、庄川、北上川上流、名取川、渡良瀬川新工事(利根川支川)、大分川ノ六十工事ナリ而シテ右ノ内附屬物及水路維持工事トシテ實施中ナルハ木曾川、淀川、利根渡良瀬兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣功シタルハ吉野川及野洲川(淀川支川)、神通川、桂川(淀川支川)ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域(瀬田川、富士川、信濃川水系(千曲川)、鬼怒川(利根川支川)、常願寺川、手取川、揖斐川(舊木曾川支川)、木津川(淀川支川)、神通川、烏川(利根川支川)、天神川、荒川(阿武隈川支川)、小澁川(天龍川支川)、渡良瀬川(利根川支川)、魚野川(信濃川支川)、中津落合兩川(木曾川支川)、土岐川(庄内川上流)、大河内川(安倍川支川)、立谷澤川(最上川支川)、六甲山系ノ各河川ナリ此内淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲セルモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦本川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ要アルヲ以テ信濃川水系ト改稱シ七年九月以降農村振興土木事業トシテ追加工事ノ施行ヲ見タルモノナリトス

## 第一 港灣改良事業

港灣改良事業ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ國運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益々重要ヲ加ヘ天然ノ儘ニ放任スルヲ許サズ隨時隨所ニ之ガ施設ヲ見ルニ至レリ明治三十三年六月勅令第二百六

十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絶シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ内務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ即チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ横濱、神戸、關門海峽(下關、門司)、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣内ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川(土崎ヲ含ム)、青森、仙臺灣内ノ一港(明治四十三年五月伊勢灣内ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣内ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス)ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月清水、那覇ノ兩港ヲ、同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶(後高知ト改稱)、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戶、飾磨、宇部ノ三港ヲ、同十一年十二月唐津港ヲ追加シ三十七港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十二港トナレリ而シテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ地方ノ事業ヲ國ニ於テ直接施行スルモノ漸次多キヲ加ヘ一面ニハ大藏省ニ於ケル横濱、神戸及門司ノ諸港ニ稅關設備トシテ港灣工事ヲ施行シ居レルガ爲メ我國港灣ノ施設經營ニ關スル行政制度ノ紛更ヲ招來セルノ虞アルニ鑑ミ大正七年十月閣議ニ於テ港灣ノ經營ヲ内務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功シタリシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ(直轄起工第二期工事トシテ昭和四十年以降十五箇年間ニ完了ノ豫定ナリシガ財政ノ都合ニ依リ毎年單年度豫算ニテ續工)シ又四日市港ハ同年度ヨリ三重縣ニ於テ施行シ船川港ハ同四十四年度ヨリ秋田縣ニ於テ施行セルガ兩港トモ大正三年度ヨリ補助港トナリ又神戸港

防波堤築造工事、同修築工事、門司港修築工事ハ大正八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同四十年年度ヨリ下關港ハ同十年年度ヨリ起工セシガ上記ノ内神戸港防波堤築造工事及門司港ハ同八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同十年年度ヨリ内務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ國庫ヨリ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ其他國庫補助工事にシテハ新潟港ハ同六年度ヨリ起工（市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承）シ十四年度ニ於テ竣功セシモ新ニ同年度ヨリ六箇年度ヲ以テ直接施行スルコトトナレリ長崎港ハ同九年度ヨリ起工シ又直轄施行ノ下關港及清水港（十一、二年度震災復舊ニ係ル追加工事アリ）ハ同十年年度ヨリ起工シ、高松、境ノ兩港亦同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市ノ施工ナリシヲ同十二年度ヨリ直接施行トシ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戶（高知ト改稱）、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外産業振興事業トシテ横濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上グ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進スベク其繰上總額百三十五萬圓（内地方負擔五十六萬圓）ナリ尙關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ産業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトシ尙重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手セルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又青森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫補助工事トシテ是亦同年度ヨリ起工シ、酒田、和歌山、宇部、廣島ノ各港ハ時局匡救事業トシテ八幡、戸畑兩港ハ航路改良ト共ニ十一年度ヨリ下關港ハ第二期工事トシテ十二年度ヨリ起工、新潟港ハ十四年度ヨリ六箇年度、荻田港ハ同年度ヨリ四箇年度、臨海地帯ノ造成工事ハ十五年度乃至同二十四年度ノ十箇年度、八戶港ハ同年度乃至同二十一年度、小名濱港ハ同十六年度乃至十八年度ノ何レモ繼續事業トシテ起工スルコトトナレリ而シテ第二豫備

金ヨリ支出ノ門司港浚渫工事ハ十年度起工シ當該年度ヲ以テ完了セリ土崎港ハ前年度ヲ以テ一旦規定ノ工事ヲ完了セルモ尙本年度ニ於テ百五十萬圓ヲ追加シ昭和二十一年度迄ノ繼續事業トシテ續工スルコトナレリ尙千葉臨海造成、下關、若松、門司ノ各港ニ於ケル緊急施設工事ヲ本年度ヨリ施工スルコトナレリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港(第一期及第二期)、新潟港(舊工事)、長崎港、高松港、下關港(第一期)、門司港(浚渫工事トモ)、境港、鹽釜港(増補工事トモ)、今治港、小松島港、鹿兒島港、伏木港、清水港、宮古港、舞鶴港、若松港、小名濱港、細島港ノ二十工事ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽(第一期ヲ含ム)、神戸港、橫濱港、土崎港、高知港、七尾港、尾道港、博多港、青森港第二期、宇野港、三角港、大分港、廣島港、和歌山港、酒田港、八幡港、戸畑港、下關港第二期、宇部港、門司港、苅田港、新潟港、臨海地帯(關門海峽綜合計畫)、八戸港、小名濱港、千葉臨海地帯、下關、若松、門司ノ三港緊急施設ノ二十九工事ナリトス

### 第三 復舊、修補及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀬川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ橫濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ橫濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ橫濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尙昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出

水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處該年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコトトナリ又信濃川、大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如ビトヤ陥没ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度内ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根、渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地ニ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ隆起ヲ招キ流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地ニ運動ノ終熄ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦上完全ヲ期スルガ爲メ同八年度ヨリ著工セル應急工事及九年度著工ノ桂川災害復舊工事モ十年度ニ於テ竣功セリ而シテ同十年度ニ於テ淀川維持工事及利根、渡良瀬兩川維持工事、筑後川改修工事ニ與ヘタル水害ハ之ガ復舊ノ要アルヲ以テ施工ノ上共ニ十一年度ヲ以テ竣功シ尙十一年度ニ於ケル淀川災害復舊工事及清水港修築工事ニ附隨スル同年度着手ノ震災復舊工事モ其年度内ニ竣功シタリ又同十年度被害ニ係ル利根川應急増補工事ハ十一年度以降ノ繼續事業トシテ十五年度ニ於テ竣了シ、淀川修補工事ハ十四年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルコトトナレリ尙土崎港震災復舊工事モ前年度著工シ年度内竣功ヲ見タリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事、淀川修補工事及荒川外九箇川、多摩川上流外五箇川ノ水害復舊工事、阿武隈川(下流トモ)、江合鳴瀬兩川、阿賀川、最上川、狩野川各災害復舊工事ノ施行ナリトス

#### 第四 國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ互ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之ガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲

メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定セラレタリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ舉グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテハ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限り完了スルヲ目途トシテ著手セルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ失業緩和ニ資シタルモノナリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎靡不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分ノ工事費ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ前年度ト同様失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニカムルノ方針ヲ採リ新ニ産業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セララル道路改良ノ急ニ應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ即チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ互ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ互ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ而シテ右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ追加豫算ヲ計上其ノ協賛ヲ得、前述ノ失業救濟國道改良費豫算ト共ニ國道ヲ改良スルコトトシタリ然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル工事ヲ起興シ既定産業振興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尙癒エズ中小工業者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在リテハ前年度ニ於テ執行シタルト同様ノ道路工事ヲ起興シ所謂非常時局ヲ匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ九年度ニ於テモ前記ノ狀態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救済ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行シ十年度亦前年度ノ後ヲ承ケテ續工セリスノ如ク昭和六年度以來國道改良工事トシテ直轄施行シ良好ノ成績ヲ收メ來リシガ元來國道ハ國家交通ノ幹線ナルヲ以テ其重要ナル改良ニ就テハ政府ニ於テ之ヲ統一シテ施行スルヲ至當ナリトシ同十一年度ヨリハ主トシテ國道改良費トシテ繼年工事ヲ施行スルコトトナレリ尙急施ヲ要スルモノ等ハ單年度施行ヲ爲スモノナリトス而シテ昭和十四年度以降十箇年度繼續事業トシテ關門海峽海底隧道及之ニ聯絡スベキ陸上隧道ノ建設工事ヲ施行シ尙本年度ニ於テ鋪裝工事トシテ初メテ六路線ノ施工ヲ見ルニ至レリ

以上述べタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線及箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ其ノ工事ノ狀況ハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列舉ニ就テハ新ニ著工セルモノト繼年事業、單年度事業及前年度ノ繰越ニ係ルモノトニ區分シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

## 第五 本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修六十、河川附屬物及水路維持七、砂防二十、港灣改良二十九、復舊及修補十、國道改良百三、合計二百二十九工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、横濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其施行ヲ擔當ス而シテ本年度施行ニ關スル是等ノ總工費現在豫算額ハ河川改修工事費五億七千六百五十九

萬八千九百九十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千八百二十六萬四百五十八圓、砂防工事費二千八百十三萬八千七百七十二圓、港灣改良工事費二億八千八百三十九萬三千六百一圓、復舊及修補工事費二千八百八萬四千九百五十圓、國道改良工事費一億二千四百萬七千四百十圓、合計十億五千二百八十八萬三千五百八十三圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ四億五千二百四十四萬一千八百二十圓ニ達シ其内本年度ノ竣功ニ屬スルハ五千三百四十九萬八千五百八十一圓ナリトス之ヲ本年度末ノ竣功歩合ニ就テ見レバ河川改修工事費ハ其總工費既定額ノ四割五分ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同八割七分、砂防工事費ハ同五割六分、港灣改良工事費ハ同四割三分、復舊及修補工事費ハ同三割七分、國道改良工事費ハ二割八分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同四割三分ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル主ナル各工事費累算額ハ三億一千六百九十八萬五千七百五十三圓ニシテ之ヲ前記本年度迄ノ竣功額ニ合算セバ實ニ七億六千九百四十二萬餘圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前同年報ニ比シ差違アルハ豫算額ヲ増減シタルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタルト前年度迄ノ決算額ノ改訂ヲ爲シタル等ニ因レルト工事ノ進捗ヲ見ザリシモ新規著手並ニ工費増額ノ影響トニ因ル、表中工事名欄國道改良工事中ノ「繼國改」トアルハ國道改良ノ繼年事業、「綠國改」「綠國鋪」トアルハ前年度ヨリノ國道改良若クハ國道鋪裝ノ綠越事業、「繼國新」トアルハ國道新設ノ繼年事業、「繼隧新」「繼國新」トアルハ繼續ノ隧道若クハ國道ノ新規工事ヲ示シ單ニ「國改」又ハ「國鋪」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ國道改良事業若クハ鋪裝事業ヲ示ス又竣功額欄ノ符號ヲ以テ示シタルモノノ内「◎」ハ縣市其他ノ負擔額、「□」ハ管理者負擔額、「▲」ハ寄附又ハ提供材料並勞力費、「×」ハ土木試驗所試驗費補給減額、「○」ハ依託工事費、「●」ハ災害土木工事費ヲ示ス而シテ殘高欄ノ「△」ハ超過額ヲ示シタルモノニシテ豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル

工 事 名		擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 合 步
河 川 改 修 工 事				前 年 度 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高	合 計		
荒川上流改修工事	東京	三、六三八、三八二	▲□	二、六二四、四九六 一、四七二、二〇一 三七九、三二〇	三八八、五〇〇 四四、五五三 四六、四八八	三三、〇二一、九九六 一、四九一、七五四 四三三、七九八	一、六三三、三八六	〇・九三
最上川改修工事	新潟	一七、九二〇、八四四	×□◎	一三、二七九、三八二 一九〇、六七二 一三九、二五七 一、五〇〇	一四八、七八〇	一三、四二八、一六二 一九〇、六七二 一三九、二五七 一、五〇〇	四、四九二、六八二	〇・七五
江合、鳴瀬兩川改修工事	仙臺	一〇、四三三、〇八八	□	七、八三〇、三九一 七六、七二五	二二二、九二〇	八、〇六三、三一 七八、七二五	二、三六九、七六七	〇・七七
雄物川改修工事	仙臺	一一、六九七、〇三八	▲□	一〇、七三〇、二五三 一三五、七四九 二七八、五七二	三〇四、三〇〇 八一六 五、六三六	一一、〇三四、五五三 一三六、五六五 二八四、二〇八	六六二、四七五	〇・八四
千曲川改修工事	新潟	一〇、七三六、五七〇	×▲□	一〇、六八三、七二五 一一五、二九七 一一、四〇三 三、九〇〇	二五、二〇六	一〇、七〇八、九三一 一一五、二九七 一一、四〇三 三、九〇〇	一九、六三九	一・〇〇
岩木川改修工事	仙臺	一三、四八八、〇一一	□	九、七六九、八五三 一一七、二〇四 二二、四六六、八七九	一八八、〇六七 六、一五五 二五八、五六三	九、九五七、九一九 一一三、三五九 二二、七二五、四四二	三、四八〇、一〇一	〇・二〇
阿賀川及阿武隈川改修工事	仙臺	一五、二三八、四九六	▲□	九、九三三、三三〇 一七六、九八一 三九、八六九	一四八、七四三 一三六	一〇、〇〇二、〇六三 一七六、一七 三九、八六九	四三三、〇七五	〇・九六
富士川改修工事	横濱	一〇、五〇七、一三七	▲□	二〇、九四九、九四一 一、四六〇、四九七 一六〇、八三八	三一九、九三三 三三、五一〇	二一、二六九、八七四 一、四九三、〇〇七 一六〇、八三八	二、八五七、七二九	〇・八八
木曾川上流改修工事	名古屋	二四、二二七、六〇三	▲□	五、五三二、六一〇 七、八八九七 一一三、一一七	二一九、一五七 三三四、六九七	五、六五一、七六七 三九六、五九四 一一三、一一七	三三七、〇五一	〇・九五
斐伊川改修工事	大阪	五、九七八、八二八	▲□	五、二九二、一五五 一、三三八、九三三 一一二、六六六 一四、五三九	一三六、二七〇	五、四二八、四二五 一、三三八、九三三 一一二、六六六 一四、五三九	四、二二六、四五三	〇・五六
信濃川上流改修工事	新潟	九、六四四、八七八	▲□◎					

河川改		工	竣功額		殘額	竣功歩合
工事名	擔當出張所	工費豫算額	前年度迄竣功高	本年度竣功高	合計	歩合
天龍川改修工事	名古屋	七、三九二、〇八二	五、〇一六、五〇五	一七二、七八三	五、一八九、二八八	〇・七〇
千代川改修工事	大阪	五、三三八、七三三	五、一九五	一六〇、五〇四	五、三三九、一五九	〇・九九
蘆田川改修工事	大阪	六、〇六一、三三五	三三、八五三	四、五四六	三八、三九九	〇・九八
紀ノ川改修工事	大阪	五、一三三、一五一	一三、五九〇	一六八、一六四	一三、七五八	〇・七五
筑後川改修工事	下關	一三、八三一、六六二	三、七二七、九五五	五、八五二	九、五八〇	〇・七二
綠川改修工事	下關	三、八〇二、五七五	三、〇〇〇	三二七、七二〇	三、三二七、七二〇	一・〇〇
北川改修工事	名古屋	二、四四九、二二二	一、七五、三二〇	一、七五、三二〇	三、五〇〇	一・〇〇
旭川改修工事	大阪	一三、二三八、八四五	八、九二五、七六七	一、七五、三二〇	一〇、六七九、〇四七	〇・五九
鬼怒川改修工事	東京	二、〇八九七、九〇四	一、七五、三二〇	一、七五、三二〇	三、五〇〇	〇・三六
大淀川改修工事	下關	五、〇五二、六四七	三、四一四、五九六	九、六六八	一、四四四、〇〇〇	〇・七二
狩野川改修工事	横濱	四、九五六、九三五	一、七五、三二〇	一、七五、三二〇	三、五〇〇	〇・八七



工 事 名		擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功		合 計	殘 額	竣 功 步 合
				前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高			
手取川改修工事	新 潟	四,九五〇,〇〇〇	×□	三,三二二,六四八	一八〇,〇五二	三,五〇二,七〇〇	一,五五六,八四一	〇・六九
小矢部川改修工事	新 潟	五,一〇〇,〇〇〇	×	三,三六六,七二七	一七四,〇〇〇	三,五四〇,七二七	三,四〇九,九〇七	〇・三三
天神川改修工事	大 阪	六,〇〇〇,〇〇〇	×●□	四,四六〇,〇〇〇	一,七九九,五〇七	六,二五九,五〇七	二,八八七,四四〇	〇・三九
阿武隈川下流改修工事	仙 臺	六,二二〇,〇〇〇	×●□	三,九六〇,〇〇〇	二,二五〇,〇〇〇	六,二一〇,〇〇〇	五,〇〇〇,一四八	〇・八二
木曾川下流改修増補工事	名 古 屋	五,九九九,八三六	▲	一,八二八,〇二五	一,八〇,二八〇	三,六二八,一〇五	四,九九九,五三一	〇・七
常願寺川改修工事	新 潟	三,九六三,〇〇〇	×	九四三,四二八	一九九,一六六	一,一四二,五九四	二,二八二,四四六	〇・二九
米代川改修工事	仙 臺	二,九七〇,〇〇〇	□	七七一,三三三	一六七,四三六	九三八,七六九	二,〇三二,一〇三	〇・三三
肝屬川改修工事	下 關	三,七七〇,〇〇〇	▲	〇三二,〇〇〇	二九八,一六六	三三〇,一六六	二,四三九,八三三	〇・二四
球磨川改修工事	下 關	三,三三〇,〇〇〇	▲	四五六,一〇〇	一七〇,〇七六	六二六,一七六	二,七〇三,八二四	〇・一八
黒部川改修工事	新 潟	三,〇〇〇,〇〇〇	×◎	〇〇〇,〇〇〇	一六六,一六四	一,六六六,一六四	一,四九九,〇〇〇	〇・一九
馬淵川改修工事	仙 臺	二,二八二,〇〇〇	□	四九五,一六七	三三三,四七〇	七二八,六三七	一,五五九,三六三	〇・二六
大和川改修工事	大 阪	四,三三二,二〇〇	×	四,六七七,七二七	三,八八八,八八八	八,五六六,六一五	三,〇九一,一六三	〇・一六
久慈川改修工事	東 京	〇〇〇,〇〇〇	□	〇〇七,三〇〇	一八六,八〇〇	二九四,一〇〇	一四一,五〇九	〇・一〇
豊川改修工事	名 古 屋	〇〇〇,〇〇〇	□	三三三,二二二	一九八,五五五	五三一,七七七	三三三,二二二	〇・二〇



防砂	河川附屬物及水路維持工事		工 事 名	擔當出張所	工費豫算額	竣 功 額			殘 額	竣功歩合
	小	計 (七)				前年度迄竣功高	本年度竣功高	合 計		
淀川流域(瀬田川)砂防工事			大阪		三、七〇、九四	二、八七、五三三	八、八五一	二、九六、三八三	七、四、五三三	〇・八〇
富士川流域砂防工事			東京		一、八五五、五〇七	一、七九三、七五一	三六、五五一	一、〇三、〇一五	二、五、一〇五	〇・九九
信濃川水系砂防工事			新潟		一、六五四、一八六	一、二〇九、八三八	五四、五四七	一、二六四、三八五	三、九、八〇一	〇・七六
鬼怒川流域砂防工事			東京		二、一七七、〇八六	一、〇〇〇、六九三	五、一〇六五	一、一一二、七五八	一、〇六四、三六	〇・五一
常願寺川流域砂防工事			新潟		三、一三九、三五三	二、二九二、一三六	一七六、五四八	二、四六八、六八四	六、〇、六七九	〇・七九
手取川流域砂防工事			新潟		一、八五六、五三三	一、三三八、七六一	一〇〇、〇〇一	一、四八八、七六一	四、七、七四〇	〇・七六
揖斐川流域(根尾川)砂防工事			名古屋		九六八、二二七	七五五、四四三	五、一四六四	八〇六、九〇七	一、六一、三三〇	〇・八三
淀川流域(木津川)砂防工事			大阪		三、九四、五六八	三、四〇、四〇七	八、一〇七、八	三、五二七、二七〇	一、四、一八八	〇・九〇
神通川流域砂防工事			新潟		五、〇〇、〇〇〇	四、六三〇、〇六六	三、九、三三三	五、〇一、四〇九	三、七、五九三	〇・九三
利根川流域(烏川)砂防工事			東京		一、〇八、八、一八〇	七、一〇、一〇〇	一三、三三二	八、七二、四八八	九、四、五、六九二	〇・四八
天神川流域砂防工事			大阪		一、八、八、一五	一、四、五三三	四〇、八二〇	一、八、一、四〇一	三、三、三三	一・〇〇
阿武隈川流域(荒川)砂防工事			仙臺		五九一、八一五	一、六二、八八四	三、四、二七二	一、九七、一六二	三、九、四、六五三	〇・三三
天龍川流域(小澁川)砂防工事			名古屋		四、五、五、五五	三、三、一〇六	一〇、一、三三三	三、三、一、六四〇	一、一〇、九、九三	〇・七三
利根川流域(渡良瀬川)砂防工事			東京		四、五、四、五五	二、六、八、六三三	五、八、九八八	三、七、七、六三三	一、二、六、九三三	〇・七二
信濃川流域(魚野川)砂防工事			新潟		四、五、四、五五	三、〇、七、三三三	七、三、三三三	三、〇、七、三三三	一、四、七、三三三	〇・六六
小計			五		一、八、一、六、〇、四、五八	一、四、八、九、三、五七八	九、七、一、三、三三	一、五、八、六、四、九〇〇	二、三、九、五、五八	〇・八七
北 上 川 維 持 工 事			仙臺		七、四、一、〇〇〇	五、五、三、〇一九	八、二、五、四六	六、三、五、五七五	一、〇、五、四二五	〇・八六

港灣改良工事		工事	
關門海峽改良工事	下關	四五、〇六〇、六一〇	一、三三四、六五七
神戸港修築工事	神戸	七三、一六〇、〇三七	三八、八九三、一九三
横濱港修築工事	横濱	二九、五八二、四〇四	一九、二二七、五一八
土崎港修築工事	仙臺	三、三三二、〇〇六	一、九九三、七八六
高知港修築工事	神戸	二、八三三、九三二	二、三五八、二〇三
七尾港修築工事	新潟	二、三三四、八一	二、〇〇九、四八八
尾道港修築工事	大阪	三、四四五、九七五	三、一九三、三七七
博多港修築工事	下關	六、二四三、五四三	五、五五八、四二三
青森港修築工事	仙臺	三、三二二、六二七	六、一〇八、八一
宇野港修築工事	大阪	二、三三二、六〇六	二、一六九、九三五
三角港修築工事	下關	二、二七九、二三三	一、九三三、七六五
小計(二一〇)	七	二八、一三六、一七三	一三、六五四、六五九
木曾川流域(中津川、落合川)砂防工事	名古屋	三〇九、〇九二	一六九、五三七
庄内川流域(土岐川)砂防工事	名古屋	三〇九、〇九二	一七五、七九九
安倍川流域(大河内川)砂防工事	横濱	三〇九、〇九二	一五九、三八六
最上川流域(立谷澤川)砂防工事	新潟	三〇九、〇九二	一三〇、二三三
六甲山系砂防工事	神戸	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、七二五、五〇〇
			九三八、二二三
			六〇、五二五
			五四、九九五
			五〇、九四五
			七二、二二三
			二四〇、七四九
			二二六、七四四
			二二四、三八二
			一九〇、七三八
			二、六五三、七二三
			七、三四六、二八七
			一、一八、三五三
			九四、七二〇
			八二、三四七
			六八、三四三
			〇・七三
			〇・六九
			〇・六三
			〇・二七
			〇・五六
			一、二、三三九、二九九
			三八、〇五七、九一七
			三三、六九八、八〇七
			九、九一八、五九二
			一、三三四、三八
			三八三、七四六
			二五五、〇八五
			〇・八九
			〇・八六
			〇・六三
			〇・六六
			〇・六四
			〇・五六
			〇・一六
			〇・五七
			〇・六三
			〇・六九
			〇・七三
			〇・六九
			〇・六三
			〇・二七
			〇・五六

總論 (本年度施行工事)

工 事 名	擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 步 合
			前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高	合 計		
大分港修築工事	下關	一、七九〇、二八六	▲ 一、五三〇、〇九五	▲ 八五一、〇一六	一、六一五、一七一	一七五、一〇五	〇・九〇
廣島港修築工事	大 阪	三、二八七、二五〇	× 二、二四九、五〇六	× 二二七、一〇八	二、四八六、六一四	八〇〇、六三六	〇・七六
和歌山港修築工事	大 阪	三、九七八、五五〇	× 二、四四三、三八三	× 一五四、九〇四	二、五九八、二八七	一、五八一、二六三	〇・六〇
酒田港修築工事	新 潟	一、五〇七、九四五	× 一、一七五、二七五	× 八二、八〇五	一、二五八、〇八〇	一四九、八六七	〇・九〇
八幡、戸畑兩港修築並航路改良工事	下 關	二、二三三、六〇〇	▲ 一〇、二四九、六二〇	▲ 一、一七〇、〇二二	一一、四一九、六四二	一三五、〇三三	一・〇一
下關港修築工事	下 關	四、六七二、〇〇〇	▲ 二、六三九、九五三	▲ 八五七、四八四	三、四九七、四三六	一、一七四、五六四	〇・七五
宇部港修築工事	下 關	二、九五九、七八七	▲ 六六六、四七五	▲ 三三三、八九九	一、〇〇〇、三七四	一、九五九、四三三	〇・三三
門司港修築工事	下 關	七、八八三、六〇〇	▲ 一、三三三、六六四	▲ 六〇九、九〇八	一、九四三、五七二	六、〇四〇、〇二八	〇・二三
新潟港修築工事	下 關	二、二五三、〇〇〇	× 五〇九、二二〇	× 三二一、五五三	八三〇、七七三	一〇、四〇〇、五二七	〇・七〇
新田港修築工事	新 潟	六、五三五、〇〇〇	× 二、一七〇、七六四	× 一、六九七、九八三	三、八六八、七四七	二、六六六、二五三	〇・五九
福岡臨海地帶造成工事	下 關	一〇、〇〇〇、〇〇〇	▲ 三六三、六〇〇	▲ 一、七四五、一九五	二、一〇九、七九五	一七、九五三、一九七	〇・一〇
八戸港修築工事	仙 臺	一、八七六、六〇〇	▲ 五八、〇九五	▲ 一三三、一六〇	一七九、二四五	一、六九七、三五五	〇・一〇
相浦港修築工事	下 關	三、五八七、七〇〇	○ 七六、八三〇	○ 八八九、一〇一	一、六五七、四〇一	一、九三〇、二九九	〇・四六
小名濱港修築工事	仙 臺	一、七四五、七〇〇	○ 〇〇〇、〇〇〇	○ 六四、〇〇〇	六四、〇〇〇	一、六八一、八七六	〇・四〇
千葉臨海地帶造成工事	東 京	三〇、二〇〇、〇〇〇	○ 〇〇〇、〇〇〇	○ 二二三、三〇六	二二三、三〇六	三〇、〇〇〇、六九四	〇・〇一
下關港緊急施設工事	下 關	七六九、〇〇〇	○ 〇〇〇、〇〇〇	○ 一〇九、五七一	一〇九、五七一	六八五、四二九	〇・一三
若松港緊急施設工事	下 關	五七五、五〇〇	○ 〇〇〇、〇〇〇	○ 八七、二二八	八七、二二八	四八八、二七二	〇・一五
門司港緊急施設工事	下 關	六〇〇、〇〇〇	○ 〇〇〇、〇〇〇	○ 一七三、七一八	一七三、七一八	六五八、六二二	一・〇〇



工 事 名	擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 步 合 計
			前年度迄竣功高	本年度竣功高	合 計		
國道一號線(名靜)改良工事 (繼國改)	名古屋	900,000	342,857	79,460	422,317	477,683	0.47
國道一號線(愛知第一)改良 工事 (繼國改)	名古屋	950,000	301,033	135,683	436,716	513,284	0.46
國道一號線(愛知第二)改良 工事 (繼國改)	名古屋	3,750,000	88,203	57,221	145,424	3,604,576	0.04
國道一號線(參宮)改良工事 (繼國改)	名古屋	1,100,000	485,288	127,631	612,919	487,081	0.45
國道二號線(兵庫)改良工事 (繼國改)	神 戶	1,450,000	396,538 129,871 85,481	9,662 119 3,112	406,200	1,043,799	0.28
國道二號線(兵庫)改良工事 (國 改)	大 阪	150,000	—	11,827	11,827	138,173	0.72
國道二號線(岡山)改良工事 (繼國改)	大 阪	100,000	95,910	30,314	126,224	73,776	1.00
國道二號線(山陽)改良工事 (繼國改)	大 阪	2,022,000	—	21,358 4,232 2,358	21,358	2,000,642	0.01
國道二號線(廣島)改良工事 (繼國改)	大 阪	200,000	26,228	10,110	36,338	163,662	1.00
國道二號線(廣島、山口)改 良工事 (國 改)	大 阪	221,800	—	221,018	221,018	—	1.00
國道二號線(岩國)改良工事 (國 鋪)	下 關	140,000	—	140,000	140,000	—	1.00
國道二號線(東山口)改良工 事 (繼國改)	下 關	8,100,000	4,444,444 1,111,111 1,111,111	1,111,111 1,111,111 1,111,111	6,666,666	1,433,334	0.04
國道二號線(西山口)改良工 事 (繼國改)	下 關	1,100,000	110,404	14,440	124,844	975,156	0.11
國道二號線(關門)建設工事 (繼國改)	下 關	1,000,000	710,333	0	710,333	289,667	0.71
國道二號線(博多)改良工事 (繼國改)	下 關	200,000	200,000	10,662	210,662	—	1.00
國道二號線(博多)改良工事 (繼國改)	下 關	200,000	134,111 11,111	17,333 1,333	151,444	148,556	0.76

事	工	良
國道二號線(熊本)改良工事 (線國改)		下關
國道二號線(熊本)改良工事 (國鋪)		下關
國道三號線(稚田)改良工事 (國改)		下關
國道三號線(宇佐)改良工事 (國改)		下關
國道三號線(大分)改良工事 (續國改)		下關
國道三號線(延岡)改良工事 (國改)		下關
國道三號線(鹿兒島)改良工 (線國鋪)		下關
國道三號線(鹿兒島)改良工 (國鋪)		下關
國道四號線(越ヶ谷)改良工 (國改)		東京
國道四號線(朽木)改良工事 (線國改)		東京
國道四號線(朽木)改良工事 (國改)		東京
國道四號線(福島)改良工事 (國改)		仙臺
國道四號線(宮城)改良工事 (線國改)		仙臺
國道四號線(宮城)改良工事 (國改)		仙臺
國道四號線(宮城)改良工事 (線國改)		仙臺
國道四號線(仙臺)改良工事 (國改)		仙臺
國道四號線(岩手)改良工事 (國改)		仙臺
國道四號線(岩手)改良工事 (國改)		仙臺

總論 (本年度施行工事)

工 事 名	擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 合 步
			前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高	合 計		
國道四號線(岩手)改良工事 (線國改)	仙 臺	200,484	101,069	43,051	144,110	56,364	0.73
國道四號線(青森)改良工事 (線國改)	仙 臺	100,000	66,564	13,436	100,000	-	1.00
國道四號線(青森)改良工事 (國改)	仙 臺	100,000	-	100,000	100,000	-	1.00
國道五號線(秋田)改良工事 (線國改)	仙 臺	100,000	71,553	28,447	100,000	-	1.00
國道五號線(秋田)改良工事 (國改)	仙 臺	100,000	56,990	43,010	100,000	-	1.00
國道五號線(青森)改良工事 (線國改)	仙 臺	100,000	-	55,757	55,757	-	0.56
國道五號線(青森)改良工事 (國改)	仙 臺	100,000	66,592	13,408	100,000	-	1.00
國道六號線(常總)改良工事 (線國改)	東 京	4,366,600	60,664	145,391	106,055	4,160,535	0.04
國道六號線(常總)改良工事 (國改)	東 京	10,126,400	-	66,713	66,713	10,059,687	0.02
國道六號線(水戸)改良工事 (線國改)	東 京	117,500	110,121	7,379	117,500	-	1.00
國道六號線(内郷)改良工事 (線國改)	仙 臺	100,000	97,234	2,766	100,000	-	1.00
國道六號線(内郷)改良工事 (國改)	仙 臺	100,000	-	100,000	100,000	-	1.00
國道八號線(山梨)改良工事 (線國改)	橫 濱	134,411	105,672	28,739	134,411	-	1.00
國道八號線(山梨)改良工事 (國改)	橫 濱	100,000	-	52,536	52,536	47,464	0.53
國道八號線(大垣)改良工事 (國改)	名 古 屋	150,000	-	64,611	64,611	85,389	0.43
國道八、十二號線(關ヶ原) 改良工事(線國改)	名 古 屋	150,000	128,195	36,587	164,782	14,218	1.00

良		工		事		
國道九號線(群馬)改良工事 (繰國改)	東京	100,000	八五,一九三	〇	一九六	一・〇〇
國道九號線(群馬)改良工事 (國改)	東京	150,000	六二,九六一	〇	八七,〇三九	〇・四三
國道九號線(三國峠)改良工事 (繰國改)	東京	二,140,000	七二,五九一	〇	一,九六八,三三四	〇・〇八
國道十號線(鹽尻)改良工事 (國改)	新潟	100,000	七二,三三九	〇	二七,六七一	〇・七二
國道十號線(上田)改良工事 (國改)	新潟	100,000	四八,八九七	〇	五二,10三	〇・四九
國道十號線(第二長野)改良 工事 (國鋪)	新潟	六〇,000	二二,三五三	〇	一,二二七	〇・九八
國道十號線(鶴岡)改良工事 (國鋪)	新潟	133,000	五八,七六三	〇	一四,六四二	〇・八八
國道十號線(第二鶴岡)改良 工事 (繰國改)	新潟	150,000	一〇八,三五八	〇	一五,〇〇〇	一・〇〇
國道十號線(酒田)改良工事 (國鋪)	新潟	140,000	三六,一九六	〇	五八,八八八	〇・五八
國道十一號線(市振)改良工 事 (國改)	新潟	40,000	八二,一二二	〇	三一,六四〇	〇・六五
國道十一號線(第二親不知) 改良工事 (繰國改)	新潟	30,000	五八,三六〇	〇	一五,〇〇〇	一・〇〇
國道十一號線(富山)改良工 事 (繰國改)	新潟	150,000	一四,九六七	〇	一五〇,〇〇〇	一・〇〇
國道十一號線(小杉)改良工 事 (國鋪)	新潟	110,000	九,七一九	〇	四,二七一	〇・六五
國道十一號線(高岡)改良工 事 (繰國改)	新潟	200,000	二六,〇〇〇	〇	110	一・〇〇
國道十一號線(金澤)改良工 事 (國鋪)	新潟	80,000	七六,三二一	〇	△	一・〇〇
國道十二號線(稻澤)改良工 事 (國改)	名古屋	150,000	三六,八九九	〇	七,七二五	〇・四八
國道十二號線(名敦)改良工 事 (繰國改)	名古屋	200,000	四〇,〇〇〇	〇	五〇,七六四	〇・四四
國道十二號線(福井)改良工 事 (繰國改)	名古屋	2,160,000	九,五五四	〇	二,107,111	110

工 事 名	擔當出張所	工費豫算額	竣 功 額			殘 額	竣功割合
			前年度迄竣功高	本年度竣功高	合 計		
國道十二號線(石川)改良工事(繼國改)	新 瀨	二,700,000	三〇九,九三八	一〇六,五六四	四一六,五〇二	二,二八三,四九八	〇・一五
國道十五號線(京都)改良工事(繼國改)	大 阪	一,700,000	三五五,一〇三	一〇〇,三〇〇	六三三,四二三	九六四,五七七	〇・四〇
國道十五號線(奈良)改良工事(國改)	大 阪	七〇,〇〇〇	四,二二六	四一,八〇八	四六,〇三四	二八,五九二	〇・五九
國道十五號線(奈良)改良工事(繼國改)	大 阪	七30,000	五二,五五〇	七二,三三五	一二四,七七五	六四五,二三五	〇・一六
國道十五號線(和歌山)改良工事(繼國改)	大 阪	80,000	六六,七四八	一三,一三九	七九,八八七	一一三	一〇〇
國道十五號線(和歌山)改良工事(國改)	大 阪	80,000	—	四四,五七四	四四,五七四	三五,四二六	〇・五六
國道十六號線(大阪、和歌山)改良工事(繼國改)	大 阪	一,990,000	二九,七四四	七九,〇二二	三七八,七五六	一,六一一,二四四	〇・一九
國道十六號線(和歌山)改良工事(繼國改)	大 阪	二五六,八六六	四一,七五〇	七二,二二二	一一二,九六三	一四三,八五三	〇・四四
國道十六號線(和歌山)改良工事(國改)	大 阪	80,000	—	一〇五,九三九	一〇五,九三九	—	—
國道十八號線(鳥取)改良工事(繼國改)	大 阪	一六〇,〇〇〇	七九,八六三	八〇,一五二	一六〇,〇一四	一四	一〇〇
國道十八號線(濱田)改良工事(國改)	大 阪	一〇〇,〇〇〇	九三,四二四	七二,七六三	一六四,一八七	—	—
國道十八、十九號線(島根)改良工事(綠國鋪)	大 阪	一六四,〇〇〇	一一二,八九八	四一,一〇一	一六四,〇〇〇	—	—
國道十九號線(岡山)改良工事(國鋪)	大 阪	七〇,〇〇〇	—	五〇,五八四	六六,〇〇〇	—	—
國道二十一號線(德島)改良工事(國改)	神 戶	80,000	—	四五,三五六	四五,三五六	—	—
國道二十二號線(玉野)改良工事(國改)	大 阪	一〇〇,〇〇〇	—	六三,八八五	六三,八八五	—	—
國道二十三號線(香川)改良工事(繼國改)	神 戶	一,500,000	一七二,九九三	三二八,八三一	二四九,八二五	一,二五〇,一七五	〇・一七

總計 (一二一九)	良工事		八	八	一、〇五〇、〇〇〇、五八三	三九八、九四三、三三九	五三、四九八、五八一	四五二、四四一、八一〇	六〇〇、〇〇〇、一七六三	〇・四
	合	計 (一〇三二)								
神戶	國道二十四號線(西條)改良(線國改)	神戶	100,000	九四、六三三	四、六七五	九九、三〇八	1・〇〇			
神戶	國道二十四號線(西條)改良(國改)	神戶	100,000	—	七七、一四八	三三、八五三	〇・七七			
下關	國道二十五號線(佐賀)改良(繼國改)	下關	1,500,000	二五〇、八〇一	五〇三、四一九	九九七、五八一	〇・三三			
下關	國道二十五號線(嬉野)改良(繼國改)	下關	100,000	—	七三、〇〇〇	三三、〇〇〇	〇・七九			
下關	國道二十五號線(長崎)改良(繼國改)	下關	1,200,000	三〇五、二四六	四四七、八〇七	一、〇〇二、一九三	〇・二四			
橫濱	國道三十一號線(橫須賀)改良(繼國改)	橫濱	5,150,000	三三、一九六	四五一、〇〇〇	四七九、九〇〇	〇・〇九			
大阪	國道三十二號線(廣島)改良(繼國改)	大阪	2,550,000	一、一三三、一八六	三三三、五五五	一、三三三、〇〇〇	〇・五六			
大阪	國道三十三號線(佐世保)改良(國改)	大阪	150,000	—	一五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	1・〇〇			
大阪	國道三十四、三十五號線(阪鶴)改良(國鋪)	大阪	1,200,000	—	一一三、五二五	一一三、五二五	〇・六九			
名古屋	國道三十五號線(高濱)改良(國改)	名古屋	100,000	—	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇・八〇			
名古屋	國道三十五號線(敦賀)改良(繼國改)	名古屋	20,000	七四、七四三	五、一五七	八〇,〇〇〇	1・〇〇			
名古屋	國道三十五號線(敦賀)改良(國改)	名古屋	20,000	一四、二六二	六五、五四五	七九、八〇七	〇・九〇			
東京	國道三十六號線(新京濱)新設(繼國新)	東京	7,500,000	四、三九八、九〇七	一、四三九、四四三	五、八三八、三五〇	〇・七八			
東京	國道三十六號線(新京濱)新設(繼國新)	東京	6,500,000	五五、九九五	一、二二七、八	六八、二六三	〇・七三			
東京	國道三十四號線(橫須賀)改良(國改)	東京	4,000,000	四、一三三、七一九	五三三、三三三	四、六六六、九四九	〇・一一			

第六 竣功工事

直轄ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和十五年度迄ニ竣功（昭和十五年度ニハ竣功シタル主要工事無シ）シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列擧スレバ左表ノ如シ但シ竣功額ノ豫算額ヨリ超過シタルモノアルハ流用額アリタル等ニ因ル

工 事 名	地 方 名	著 手 年 度	竣 功 年 度	豫 算 額	竣 功 額
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	一、四八四、〇〇〇 <sub>円</sub>	一、四八六、〇〇〇 <sub>円</sub>
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同二十九年度	同四十三年度	一〇、〇八七、〇〇〇	一〇、〇八七、二二〇
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	同二十年度	大正元年度	九、四六四、三三八	九、四五九、三七三
庄川改修工事	富山	同三十三年度	同元年度	二、九九二、四三三	二、九七二、三九九
遠賀川改修工事	福岡	同三十九年度	同七年度	四、八三二、〇〇〇	四、八一五、四五五
淀川下流改修工事	大阪	同四十年年度	同十一年度	三、七五五、〇〇〇	三、七三九、五八六
九頭龍川改修工事	福井	同三十三年度	同十三年度	五、五五〇、〇〇〇	五、五四五、一五一
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	同四十三年度	昭和元年度	一、七〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、三三三
信濃川改修工事	新潟、新潟	同四十年年度	同二年度	二、三、五四一、九五〇	二、三、五三八、二二六
吉野川改修工事	徳島	同四十年年度	同二年度	一、二、一〇六、二八五	一、一、七九一、三八五
高梁川改修工事	岡山	同四十年年度	同二年度	七、七九六、〇七七	七、八二六、一〇六
利根川改修工事	東京、埼玉、千葉	同三十三年度	同五年度	六、三、〇四〇、一七七	六、三、三九八、四〇六
荒川下流改修工事	茨城、栃木、群馬	同四十四年度	同五年度	三、二、三四四、〇〇〇	三、二、三四二、一四六
淀川改修増補工事	大阪、京都	大正七年度	同七年度	一、四、五七七、八五一	一、四、二九七、二五五

港灣改良工事						砂防工事				工事															
敦賀港修築工事	新瀉港修築工事	長崎港修築工事	高松港修築工事	下關港修築工事	門司港修築工事	境港修築工事	福新	新潟	長崎	香川	山口	福岡	鳥取	福井	新潟	東京、神奈川	多摩川改修工事	北上川改修工事	太田川改修工事	加古川改修工事	神通川改修工事	圓山川改修工事			
井	瀨	崎	川	口	岡	取	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)	計(四)		
明治四十二年	大正六年	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
四年度	六年度	九年度	十一年度	十一年度	十一年度	十一年度	四年度	四年度	五年度	八年度	四年度	四年度	四年度	四年度	四年度	四年度	七年度	十四年度	八年度	七年度	七年度	七年度	七年度	九年度	
大正二年	同	昭和二年	同	同	同	同	同	同	同	昭和五年	同	大正九年	大正九年	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
十四年度	十四年度	十四年度	十四年度	十四年度	十四年度	十四年度	六年度	六年度	六年度	六年度	五年度	十三年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度	九年度
700,000	2,342,104	2,490,000	2,100,000	3,442,000	5,890,000	1,975,774	581,938	581,938	95,100	276,838	60,000	150,000	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351	261,811,351
733,210	2,366,901	2,463,768	2,198,884	3,172,130	5,657,683	1,974,840	572,630	572,630	94,963	276,576	59,833	141,258	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626	260,541,626

總	港灣改良工事										工
	事										
總	小	鹽釜港修築工事	宮	城	大正三年度	昭和七年度	五〇七、七八一	五〇八七、八〇三			
		敦賀港修築工事	福	井	同十一年度	同七年度	三、四三三、六四三	三、四三三、六四三			
計(四五)	許(二〇)	今治港修築工事	愛	媛	同十一年度	同八年度	二、九七一、〇三九	二、九二二、九二九			
		小松島港修築工事	德	島	同十二年度	同九年度	二、八八一、三八四	二、七九八、六六三			
計(四五)	許(二〇)	鹿兒島修築工事	鹿	島	同十二年度	同九年度	二、〇〇八、八三一	二、六三〇、〇〇九			
		鹽釜港修築增補工事	宮	城	昭和七年度	同九年度	五六一、〇〇〇	五六六、〇〇四			
計(四五)	許(二〇)	伏木港修築工事	富	山	大正十二年度	同十一年度	四、〇九六、五二〇	四、〇七五、三五二			
		清水港修築工事	靜	岡	同十年度	同十二年度	八、六七七、四九九	八、〇八九、五一八			
計(四五)	許(二〇)	宮古港修築工事	宮	城	昭和四年度	同十二年度	一、六八〇、九六一	一、五六三、五四八			
		舞鶴港修築工事	京	都	同四年度	同十二年度	一、六三八、四〇八	一、四九九、二四五			
計(四五)	許(二〇)	若松港修築工事	福	岡	同七年度	同十二年度	一、〇〇〇、〇〇〇	七五一、〇四八			
		小名濱港修築工事	福	島	同四年度	同十三年度	二、七六一、二九四	二、五七九、九五五			
計(四五)	許(二〇)	細島港修築工事	下	關	同四年度	同十四年度	一、三五五、〇〇〇	一、三五八、三六五			
		總計			明治四十二年度	十四年度	五七、七六三、一九二	五五、八七一、四九七			
同二十九年度	同	同			同	三二〇、一五七、四八〇	三二六、九九五、七五三				